

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和7(2025)年度 第1回みよし市社会教育委員会		
開催日時	令和7(2025)年7月8日(火) 午後3時から午後4時50分まで		
開催場所	図書館学習交流プラザ「サンライズ」2階 多目的室		
出席者	委員長 今瀬 良江 副委員長 近藤 憲司 委員 野口 尚子、大地 由美子、中村 有里、大村 恵、岡本 清則、勝野 啓哉、 横本 祥平、堀本 さなえ(計10人) 市側 増岡教育長、富田教育部長、竹山教育部参事、鈴木教育部副参事、岡田教 育部次長兼学校教育課長、林スポーツ課長、塚本歴史民俗資料館館長、橋 本生涯学習推進課長、松田生涯学習推進課主任主査(計9人) 出席者：19人 傍聴者：0人 欠席者：0人		
次回開催予定日	令和7(2025)年2月下旬		
問合せ先	みよし市教育委員会生涯学習推進課 担当者名 松田 電話番号 0561-34-3111 ファックス番号 0561-34-3114 メールアドレス gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	協議・報告事項 1 協議事項 (1) 社会教育委員関係について (2) 令和7(2025)年度教育行政方針 (3) 令和7(2025)年度社会教育関係事業及び社会体育事業の概要について ① 学校教育課の概要 ② スポーツ課の概要 ③ 生涯学習推進課の概要 ④ 歴史民俗資料館の概要 (4) その他		

会議録

<p>司会（松田）</p>	<p>< 開 会 > 定刻になりましたので、本年度、第1回目の社会教育委員会を開催します。 はじめに、礼の交換をおこないます。 皆様、ご起立をお願いします。 「一同礼」 ご着席ください。 ありがとうございます。</p> <p>ここでご報告を申し上げます。 中村有里委員が去る5月28日に愛知県社会教育委員連絡協議会より表彰を受けられました。こちらは社会教育委員として8年以上ご尽力をつくされた方が受賞されるものです。 長年にわたり社会教育に対し多大なる貢献をされてきたご功績を称えお祝いを申し上げます。 中村委員は先日の愛知県社会教育委員連絡協議会総会を所用に よりご欠席されたため、愛知県社会教育委員連絡協議会より表彰状をお預かりしております。本日、この場をお借りして表彰状をお渡ししたいと思っております。</p>
<p>増岡教育長</p>	<p>表彰状の交付</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>中村委員、おめでとうございます。 それでは、会議を進めさせていただきます。 なお、本会議は「公開」とさせていただいておりますので、ご承知おきください。 本日傍聴人はございません。</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>本年度、2名の方に社会教育委員にご就任いただきました。 ここで、教育長より委嘱状を交付させていただきます。 お名前をお呼びしますので、ご起立をお願いします。 横本 祥平（よこもと しょうへい） 様 勝野 啓哉（かつの けいや） 様</p>
<p>増岡教育長</p>	<p>委嘱状の交付</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>はじめに、増岡教育長があいさつ申し上げます。</p>
<p>増岡教育長</p>	<p>増岡教育長あいさつ</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>続きまして、今瀬委員長にあいさつをお願いします。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>今瀬委員長あいさつ</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>今年度最初の会議ですので、委員・事務局の自己紹介をお願いしたいと思います。お手元の名簿順をお願いしたいのですが、先ほど今瀬委員長はご挨拶いただきましたので、近藤副委員長からお願いいたします。</p> <p>各委員・事務局の順に自己紹介</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>ありがとうございました。 教育長は他の公務があるため、ここで退席させていただきます。</p>

司会（松田）	<p>それでは、ここからは、条例第6条第3項の規定により、委員会の取り回しを今瀬委員長にお願いいたします。</p>
今瀬委員長	<p>それでは、会議の進行につきまして、皆様のご協力をお願いいたします。 次第に沿って会議を進めます。 はじめに、次第4「社会教育委員関係について」、次第5「令和7年度教育行政方針」について、事務局より説明をお願いします。</p>
生涯学習推進課長	<p>生涯学習推進課長の橋本です。 着座にて失礼いたします。 それでは社会教育委員関係についてご説明させていただきます。 資料の1ページをご覧ください。 令和7年度みよし市社会教育委員会委員名簿です。 今瀬委員委員長をはじめ、10名の委員の方には今年度お世話になりますので、よろしく お願いいたします。</p> <p>続いて2ページをご覧ください。 社会教育委員の役割と今後法令が記載されております。 上から2つ目の◎に記載されております通り、先ほど今瀬委員長もおっしゃられましたが、社会教育委員は社会教育に関し、教育委員会に助言するために置かれたようになって おりますので、活発なご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>3ページをご覧ください。 みよし市社会教育委員条例です。 委員の基準や定数、任期などが規定されております。 ご覧ください。</p> <p>続いて4ページをお願いします。 令和7年度社会教育委員会の年間予定です。 委員全員にご出席をお願いするものは、本日を含め、年2回の社会教育委員会となります。</p> <p>8番の東海北陸社会教育研究大会など、県からの依頼で本市から4名程度の出席依頼のある 会議等もありますので、こちらにつきましては順次ご連絡をさせていただきますので、よろしく お願いいたします。</p> <p>続いて5ページをご覧ください。 みよし市教育委員会の機構図になります。 教育委員会に教育部を置き、学校教育課、学校教育課内に学校給食センター、スポーツ 課、生涯学習推進課、生涯学習推進課内に歴史民俗資料館の5つを所管する形となって おります。</p> <p>続いて6ページお願いいたします。 令和7年度当初予算総括表をご覧ください。 本年度の教育費の総額は45億9053万1000円で、前年度対比、前年度比0.7%の減となっ ております。</p> <p>令和6年度と7年度で1億円以上の差、差額の大きいところを説明させていただきます。 項の2、小学校費、名目1諸学校管理費は、は令和7年度は児童用タブレット端末の更新 による購入及び設定作業費の増額により87.7%の増。 同じく小学校費目算学校建設費は、は令和6年度に完了した小学校体育館へのエアコン 設置工事分の減額により、96.4%の減となっております。</p> <p>続いて下の項3ですね、中学校費名目1学校管理費は、小学校の学校管理費と同様に、生 徒用タブレット端末の更新による購入及び設定作業費の増額により、84.1%の増となっ ております。 同じく項3の中学校費目算学校建設費は、南中学校大規模改修工事。 が、令和6年度に完了したことにより、88.2%の減となっております。</p>

<p>今瀬委員長</p>	<p>続いて、項の5、社会教育費目、9、生涯学習推進費は、来館者用駐車場用地の土地購入費の増額により、67.7%の増になっております。</p> <p>続きまして、7ページをご覧ください。 12ページまでが令和7年度教育行政方針となります。 3月の令和7年第1回みよし市議会定例会において、増岡教育長が今年度の、教育に関する重点施策などを説明したものです。 令和7年度は現行のみよし市社会教育振興基本計画の最終年であり、現在10年間の施策の早期点検に取り組む取りかかっているところです。</p> <p>後程、資料の7その他の中で、現在策定に取り組んでいる新たな教育振興基本計画の策定に関する進捗状況についても触れさせていただきますが、現行計画の最終年となる令和7年度の10款重点施策について、次の次第の6で、各課の担当から説明させていただきますので、よろしくお願ひします。 以上です。</p> <p>ありがとうございました。 多分事前に資料が配られた教育行政方針等にも影響したと思いますけれども、ただいまの事務局の説明についてご意見ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。 また後でお気づきの点がありましたら質問していただければと思います。</p> <p>では続きまして次第6、令和7年度社会教育関係事業及び、社会体育関係事業の概要について事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課長の岡田でございます。 私からは学校教育課の内容についてご説明をさせていただきます。 それでは資料13、14ページですねお願ひいたします。 学校教育課の事業概要でございます。 学校教育課では、みよし市教育プランにおける共育教育をキーワードに、各小中学校の特色を生かしながら、学校家庭及び地域が一体となって目指す、児童生徒像の達成に向けて、教育施策を推進して参り令和7年度は重点事業としまして、(1) から (8) までの8点として事業を推進して参りますが、中でも本年度は (5) にありますように、南中学校大規模改修事業が、第3期を迎え、外構工事を実施して参りますとともに、市内小中学校の照明設備のLED化を合わせ計画的に進め7年度は南部小学校、三好丘小学校、緑ヶ丘小学校においてLED化の工事を実施して参ります。 また、今年度は現行のみよし市教育振興基本計画の最終年に当たりますので、次期計画の策定を進めて参ります。</p> <p>続きまして次、令和7年度の主要な事業についての説明をさせていただきます。 1ページの上、括弧1に応じた教育を推進し仲間と進んで学ぶ児童生徒を育てては、入学初期の子供の安心感を高め、学校生活にスムーズになれることができるよう、スタートカリキュラムを実施し、これまでの幼保小中交流事業の見直しを図り、中学校区内での交流及び、教員の体験を重視した取り組みを行って参ります。 また、外国人にルーツのある小学校高学年や中学生を対象とした学校での学習内容を補充するための、土曜日教室を学びの森で開催し、学習機会の充実を図ります。</p> <p>2ページの (2) 心豊かな児童生徒を育てるでは、これまで行ってきております人権教育や思い出コンサート、出前授業などの事業や、土別市 coronbas 市との児童生徒の交流を今年度も実施して参ります。</p> <p>また今年度は黒笹小学校で3カ年の市研究職の研究成果発表を行うとともに、緑ヶ丘小学校では、道徳教育において、愛知県の研究委嘱を受けておりますので、こちらの研究を行って参ります。</p> <p>続きまして次のページをおめぐりいただきまして、(3) たくましい児童生徒を育てるでは、令和8年度からの中学校部活動の地域展開を目指した体制整備を進め、地域クラブ活動、みよしクラブの充実を図って参ります。</p>

	<p>続いて(4)安心、安全、快適で信頼される学習環境をつくるでは、いじめ不登校の未然防止の推進といたしまして、市内中学校の3年生を対象としまして、試験的に、悩み相談アプリを導入する事業や、スクールソーシャルワーカー社会福祉士の雇用を進めて参ります。</p> <p>また中学校に続きまして、小学校におきましても、段階的に校内ブルースクールの設置を進めて参ります。続きまして、少し飛びますが(9)お願いいたします。</p> <p>学校施設の計画的な改修におきましては、北部小学校のトイレ改修に向け、本年度は設計を実施いたしまして、8年度工事を進めて参ります。</p> <p>申し訳ございません(8)のLED化のところ9校となっておりますが8校の誤りですので申し上げますが訂正をお願いいたします。</p> <p>今年度におきましても今年度同様に、様々な事業を実施して参りますが、教育委員会だけでなく、児童生徒への必要な支援体制整備を図るために、市役所内の子ども未来部や、福祉部ともさらに連携を深めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>続きのページからは学校教育課内の事務分担表が載っておりますので、皆様に何かご質問等ございましたら参考にしていただきたいと思います。</p> <p>あと、参考までに、家庭教育学級や触れ合いトライアングル推進事業などの実施要領を添付しております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
今瀬委員長	<p>今の事務局の説明について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続けていきますか。</p>
近藤委員	<p>一つ質問をいいですか。2の(5)番の中に、のフューチャークラスルームを作ると書いてあるけど、実際にはどんな活動する教室なのでしょう。</p>
学校教育課長	<p>今年度、中部小学校の方で整備しているところなのですが、これまでのコンピューター教室、パソコンがこう並んでいるような教室からですね、大きなスクリーンを用意したりプロジェクターで投影できるような機器を設置した中で、子供たちがタブレット端末を、使ったりして皆さん相互で、紙とかじゃなくてタブレット端末上での発表など、大きなスクリーンで投影したりとか、またそういったようなものを使って、離れたところの、学校とか、すいませんちょっと詳しくなくて申し訳ないのですが、オンラインでつないだ中の画面上でそちらの、つないで大きなスクリーンを使って子供たちが交流できるような、そういった少し今までのコンピューターを使った授業とか、ちょっと違う体験ができるような、そういったものを中部小学校のほうでまずは整備をしまして、今年度1年使ってですねこの中部小学校の方の授業を皆様に、学校の先生方にも見ていただいた中で、今後よければ同じようなものをそれぞれの学校の方に整備して進めて参りたいというふうに思っております。</p>
今瀬委員長	<p>イメージがわきづらいですね。</p>
近藤委員	<p>ソフトって、今まで使っていた子供たちの端末に入っている未来スクールですか。</p>
学校教育課長	<p>そういったソフトを使うのではなく、教室などではなくて大きなお部屋の中で、スクリーンとか投影できるプロジェクターを用意した中で、そういったところに皆さんが子供たちのタブレットの例えば、調べ学習とか作っている内容をそういったことを聞くところに投影して、もうみんなで見られるようにしたりとか、離れたところの方とつないで、そういった方の向こうの画像のスクリーンに投影したりする中で、放送部に交流ができたとか、そういったようなことができるようなものを想定しておりまして、教室でももちろんアプリとかを使って授業などではやってらっしゃると思うのですが、それではまたちょっと違って、大きな部屋の中でそういった、もう少しちょっと違う形での、発表な形態であったとか、交流の場が持てるようなものを準備して、使っております。すみません、なかなかイメージ難しいです。</p>
今瀬委員長	<p>プロジェクターで離れた学校との交換授業も映し出せます。それから、自由に今までのコンピューター教室をちょっと移動させるので部屋が広いので、机も自由に体系も自由になります。この間中部小学校に見に行ったら、机グループごとに1つまたタブレット</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>大きいタブレットがあって、グループの考えを共有するという、デジタルフル活用して、今までにない教育ができるような、さらに発展的な活用を目指すような教室を今、市は作ろうとしているのですよね。</p> <p>そうですね。 これまで、今の他の学校ではまだ各教室の中やコンピューター教室にパソコンがあるのですけれども、順次パソコンのリースアップ時期を迎えていきますので、そういった時期に合わせて今後は導入をしていきたい考え、中部小学校で現在皆様や、先生方に使っていたいただいて、先生方に見ていただいた中で、どのようにしているところでございます。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。 では、スポーツ課の方へ。</p>
<p>スポーツ課長</p>	<p>課長の林です。よろしく申し上げます。 資料31ページをお願いしたいと思います。スポーツ課の概要について説明をさせていただきます。1枚めくって32ページですね、令和7年度のスポーツ課事業概要でございます。(1)の現状と課題に基づきまして、今回ですね、重点事業を4つ定めさせていただきます。その4つの内容は、(3)の主要事業に載せています。 まず一つ目の行うスポーツの推進でございますが、小学校の部活動が廃止されてバスケット、サッカーですね、どうすべきかなってということで、学校教育課でバスケットとサッカーのプログラムを用意しています。そして成果発表の場としてバスケットボール大会とサッカー川口三郎杯をスポーツ課で実施しております。 継続して、実施しております。 続きまして33ページになります。(2)見るスポーツ支えるスポーツの推進でございます。ホームタウンパートナーである、名古屋グランパス、トヨタヴェルブリッツ、トヨタ自動車サンホークス、アドマテックス・スフィアーズ、中日ドラゴンズとの連携により、トップスポーツの観戦機会の提供やトップ選手との交流活動等を通じて、観るスポーツを推進します。また中学校部活動の地域連携・地域移行に向け、スポーツ推進委員、みよし市スポーツ協会、(一社)みよし市カヌー協会、総合型地域スポーツクラブとの連携により、指導者の育成・確保等、地域における受入れ体制の整備を進めます 続いては(3)スポーツ環境の整備、交流連携の促進です。 第20回アジア競技大会カヌーカヤック競技が三好池で開催されるに当たりまして、PRするための、動画作成や、アジアの地域の料理を学校給食で提供する事業を行います。あと学校フレンドシップ事業も推進していきます。 最後は(4)のみよし市スポーツ推進計画の策定です。 現みよし市スポーツ推進計画は、推進期間を平成28年度から令和7年度の10年間としており、中間となる令和2年度に見直しを行い、推進計画に基づきスポーツ推進事業を実施しています。令和7年度末に推進期間が終了することに伴い、本市のスポーツを取り巻く現状と課題を再度見直し、一層スポーツを推進していくための指針となる、新たなスポーツ推進計画を策定します。 34ページが令和7年のスポーツ課事務分掌です。35ページがスポーツ課事業計画です。今年1年間よろしく申し上げます。以上です。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。 生涯学習の関係についてお願いします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>それでは資料の36ページをお願いします。 生涯学習推進課の事業内容について説明させていただきます。 次の37ページから39ページが対象の部分になりますのでお願いいたします。 中央図書館の、令和7年度の重点事業としましては、小中学校の授業や自主学習、読書の時間等で電子書籍を活用するため、1人1台のタブレット端末からみよし市電子図書館を利用できるように整備を進めております。 今年度中には全部ですね、小学校8校と中学校4校の全12校で実施していきたいと考えております。 生涯学習の分野では、10月1日に開館予定のみなよし交流センターでの生涯学習講座が開催できるように準備を進め、各地区でのニーズに合った学びの機会が提供できるように取り組んで参ります。 また、中学校活動の地域移行地域展開において、文化協会がその受け皿となれるよう、今月の7月26日に開催するサンライブ祭りの中で、体験コーナーを盛り込むなど、様々</p>

今瀬委員長	<p>なイベントを通して、子供たちが、文化芸術の具体的機会をふやしていきたいと考えております。 資料の40・41ページが事務分掌になりまして、43・44ページが年間計画となっておりますので、ご覧いただければと思います。 以上です。</p> <p>以上資料館の方からお願いします。</p>
資料館長	<p>ご説明させていただきます。 資料45ページをお願いいたします。 市立資料館地域の文化財や伝統平準化の増加、ほぼそれらの活用と資料館及び歳出並びに仕掛け住宅の管理運営を行う業務としております。 今年度は重点事業といたしまして現在パブリックに代えさせて、本市の公共施設等総合経営管理室や資料あり方検討会からの提言などを踏まえ、資料館の再整備などの交渉を検討することや、市内の文化で特に生きがい場や、社長に所在する酒井などの調査関係諸団体との連携などにより、地域の歴史文化に触れてもらう機会の創出を図って参ります。 主要事業の中で主なものを申し上げますと、46ページの3協同病院を伝承活動発表会開催事業につきましては、例年同様林家見込まれ希望の手などの発表会を9月14日の日曜日に加入して主体ホールで開催いたします。 8資料館展示事業につきましては、今年度は例年同様に施設ごとの年4回の展示会を改正する予定で、直近では7月19日から9月15日まで、上期各店発掘発見みよし市の金石大理石を開催予定です。 また、47ページの体験講座などいたしました小学における猿投窯に関する出張事業や、夏休みに実施予定。 現在参加者募集中の席づくりやとき型、木造大変講座などを開催し、みよしの歴史や文化を広く知っていただく機会を提供して参ります。 10仕掛け住宅管理事業では、週末ごとに開催する歴史体感講座の他、各種イベントをすることに開催しており、直近では7月19日に100祭りを開催する予定です。 48ページは資料館の事務分掌となります。 以上説明とさせていただきます。</p>
今瀬委員長	<p>ありがとうございました。 ありがとうございました。 各課の説明等がちょっと多岐にわたりました</p>
近藤委員	<p>質問です。 45ページの重点事業の、2の(1)番、資料館の整備計画で、建て替えにするかどうかとかいろいろ議論されて、市の全体の中で見直しという話で今ストップしていると思うんですけども。それは今どの辺までいっているのでしょうか。</p>
資料館長	<p>質問に関しましてですね、公共施設のあり方についての方針が今ほぼ固まりまして、資料館については、複合等含めて検討していくってところですので、そちらに合わせて、以前近藤委員にも参加いただきましたあり方検討会から提言いただいていますので、そこに出ている機能を盛り込んだ資料館等の整備について検討していくという段階に今なっておりますのでひとまず本社に市のある公共施設の管理計画、報恩にのっとって、今後個別計画等、策定しつつ、そちらの方で検討してください。</p>
近藤委員	<p>もう1点去年の市議会かなんかで、どなたか議員さんが何かまたやるよという、何か答弁があったような同なんて私もちょっと記憶ないですけども、あれは今どういう、どこまで、やるのでしょうか。</p>
資料館長	<p>実際のところ今もうちょっと発掘調査をするということはまだ決まっていないんです。大学の専門教授、専門の先生に来ていただいて、ちょっと歩いて見ていただいて、この辺がタッチで、だからっていう点を、ラッキーから冬にかけて、滋賀大学、県立大学の先生ですけど、来ていただくように今調整しております。</p>
近藤委員	<p>ありがとうございました。</p>

今瀬委員長	先ほど申しました先に渡りますけども、ご意見ご質問等全体を通してありましたら、いかがでしょうか。 でしょうか。
野口委員	私1つよろしいでしょうか。家庭教育関係の26ページですけれども。予算が以前に比べて大変減ってきたような気がするのですけれども、学校のご意見はどうなのかなって、なかなかこういう会を開催しないと親御さんも集まらないと思うのですけれども、家庭教育に関するその辺はいかがなものかなということではちょっとお伺いしたいです。
副参事	予算のことに、はちょっとなかったなかなか今厳しいところもあるのですけれども、現在ですね、やはりなかなか家庭教育学級の方ですが、中学校の思春期の方含めまして、人口で開催するのはなかなか難しい。事実上あるので、毎年学校さんの方からも、人を集める開催して人を集めるみたいでなっているようなご意見など、開催自体がもうできないですっていう学校も今複数出てきている。 予算の方もそういったところはあるけれどもいいと思いますか1度うちとしては要求してやってやるように、準備をしておりますけれども。 また厳しい中、難しいところがあるなと思っておりますが1個当たり括弧ですね1回は実施できるような形で、皆さんの要求等はしているところです。
今瀬委員長	先ほど野口様の家庭教育、親御さん不安を抱えている方がたくさんいる中で、でも親御さんの学ぶ機会が減ってきて、時間がなくて学校に来られない人たちもいると思うんですけど、何かその辺で、各学校だとか教育委員会が工夫してかないと、親御さんのご説明に関する学びが、これからどういうふうに進透していくのかなってということがちょっと心配かなということだと思います。
副参事	今やはり学校さんの方でいろいろやってもらっている中で、現状だとPTAの方を対象としてやっている。こちらの開催、今持っている要綱ですね実施要領などの内容などについても、もう少しちょっと抜本的な見直しも図っていく。PTAの方を対象としたPTAの方の活動っていう形ではなくて、ちょっと保護者の方全体をいろいろとか、地域の方々も含めた中でやるような方法が何かないかなっていうのはちょっと検討して参りたいというふうには、考えております。 やりやすいような、もうちょっと開催ができるような方法をちょっと検証していきたいなと思っております。
今瀬委員長	近隣市の会議で聞いたのですが、そこで研修会をすると、人が満杯になって入れないっておっしゃっていたんですね。 それは何かっていうと、やっぱり本当にその保護者の方が知りたいことをテーマにしてやっているっていうので、どんなことをやっているのかなって話が出たのですけども、やはりスマホ、子供たちがゲームづけになってしまうというような、親が切実に問題と感じる事柄をテーマにしたものとか、それから親にとって迷いがすごくある性教育だとか、そういうものをテーマにして開催していると、本当に人数たくさん人が集まってしまうみたいなお話がありましたね。 なので、やはり内容についてどんなことができるかっていうことと、不登校いじめ問題もあるなと私は感じているのですけども、どんな人にどんな話が聞けるかというところの資料がたくさんあって、話とか、保護者が聞きたい話をしてもらえるものを考えていく出前もちろん予算も要ると思うのですけども、そういう、何ていうかな学べるものの資料とかが用意されて、中身が、聞きたいことであることを中身にしていけば、人が集まらなくてできないとかいうことをちょっと感じたので、やっぱりそういうことを考えていくことが大事ではないかなと思います。 これは多分情報提供も教育委員会から学校やって教頭さんが一生懸命探すのも大変ですよ。
勝野委員	そうですね。 今のうちには実は今年度家庭教育学級をちょっとPTAの人数を、役員の人数を半減した関係で、今年やってないのですっていうのは結局、毎年PTAさんが変わって、もうその家

副参事	<p>庭教育学級をやるのが目的になってしまっていて、なんで、だからあんまり面白くない怖さ言い方悪いんですけど、悪循環になっていて、今何かっていうと先ほどあったコミュニティスクールのチームさんが、防災、パンづくりだとか、性教育の読み、読み語りだとか、いろんなことを企画してやってくださっているの、うちとしてはそういうところに補助っていうか、お金をまわしてもらえると、講師今、ほぼほぼ講師さんはボランティアで来てもらっているんですけど、少しお車代ぐらいだとか、そういうことが払えるかなと。うちの現状だとそういう形で、ちょっと先ほど形を変えていくっていうところもあるのでそういう形で柔軟に使わしていただけるようになると、大変ありがたいので、ぜひ検討していただいて学校が柔軟に活用できるといいかなと思います。</p>
今瀬委員長	<p>ありがとうございます。 参考にさせていただければ、</p> <p>他によろしかったでしょうか。 ではまた最後にありましたらどうぞ。</p> <p>それではその他事項の方に入りたいと思います。 みよし市のコミュニティスクール、或いは地域学校協働活動も盛んになってきましたが、先生社会教育、教育委員で総会とか研修会出ますと、いつもそのことが話題で、いろんな実践発表を伺ってきたのですけれども、みよし市の状況実は教育委員さんたちに社会教育委員の皆さんよくわかってないっていうことですね。 それで今回ちょっとみよし市の状況について、お話しいただいて、さらに何か私たちも協力できればと思ってお願いしたわけですが資料を作っていただいてありがとうございます。 はい、じゃあお願いいたします。</p>
副参事	<p>はい。 お願いします。 学校教育課鈴木でございます。 今日配りました1枚のプリントですね、みよし市のコミュニティスクールについてというものをご覧いただきたいと思いますこちらに沿ってお話させていただきます。</p> <p>ではまず一番からいきますがはじめにですけれども、コミュニティスクールとはっていうところからです。コミュニティスクール等は学校運営協議会が設置された学校のことを言っています。 学校協議会とはっていうところですが、学校の運営について討議する機関そのままですけれども、メンバーとしては地域の公職者ですとか、PTAの関係者、地域学校協働活動の推進などか、学校の実情に合わせてそういった方を委員としてお願いをして構成されております。 みよし市では、令和2年度に三好中学校が市内初のコミュニティスクールとなりました。以降、コミュニティスクール、年齢増加をしていって、本年度からは市内の全小中学校が、コミュニティスクールという形で動いているところでございます。 コミュニティスクールでは、学校運営の基本方針を学校と地域が共有して、地域が一体となって特色ある学校づくりを進めていくふうになっております。 2番の学校の取り組みのところをご覧ください。 そちらの表にお示した通りです。確保目指す子供の姿や学校が抱えている課題を解決するために、地域と連携した取り組みを進めていただいております。 表の内容はほんの一部ですけれども、括弧様々な取り組みを進めていることがおわかりになるかなというふうに思います。 続いて3の成果ですが、いくつか出ささせていただきましたが、除草作業では、孫はいないのだけでも子供のためだからとって、地域の老人会の方が参加してくださったというケースがあります。 地域中学生と地域の方が触れ合う医療機関になっております。 また、地域行事の準備や運営にボランティアとして参加している生徒が増えてきております。 地域の方からも感謝をされ生徒にとっては大きな有用感を得る機会というふうになっております。 事業支援ではミシンですとか、調理実習など、多くのそういったことに多くの保護者ボランティアが参加して、安全かつ効率よく活動を行うことができております。</p>

	<p>このようにですね、子供も多くの大人で支え、子供の頑張りを非常に喜び合える機会となっておりまして。</p> <p>最後4の課題としては、コミュニティスクールや地域学校協働活動について、その意義ですとか役割がまだまだ十分に地域とか家庭に周知できていないかなというところですね。</p> <p>各学校ですね、通信を発行したり、学校のホームページに掲載したりするなど、継続的にこういった取り組みを周知していくそういった活動もしていく必要があるというふうに考えております。</p> <p>また、これまでの活動で行われていたPTA活動ですとかそういったものとの活動のすみ分けですとか、関連づけなど、組織の整理や整理が整理や整備が必要というふうに考えております。</p> <p>あとはですね、実際に取り組んでいただいている方から意見が出ているのですけれども、活動が活発になればなるほど、今お願いをしているのですけれども、地域学校協働活動の推進、いわゆるコーディネーターという方の負担が、増大していくなということがそういった懸念もあります。</p> <p>活動の充実を図るとともに、持続可能な取り組みとして進めていく必要があるというふうに考えているところです。</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>令和2年に三好中学校を試行的に出発させて、全小中学校で5年間かけて、どの学校もコミュニティスクールになりました。みよしは小さな町ですけども、各小学校、中学校区とかの特色がありますので、学校の特色に応じた活動が進められているということで活動の中にもいろいろあるわけですが、成果が上がってきている課題もあるということですが、皆さんはこの説明に対してご質問とかご意見がありましたらどうぞ。</p>
<p>副参事</p>	<p>この章一番はじめにの一番上のところに、学校運営協議会を構成する委員について記載があるけれども、地域公職者などをずっと書いてあって、学校の教員は委員ではないのですか。これの前身で地域トライアングル事業っていうのがあったと思うのですが、その時には教員が入っていたので、学校側がどうでしょうか。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>委員の中にせっきく学校それぞれあるのですけれども中には、学校の校長或いは教頭がその委員に入っているということで学校運営協議会の委員という構成を作っているところもあるのですけれども、この学校協議会自体ですね、学校の運営についていろいろと提案してですがそれについて承認を得るといえるものがあるものから常に学校側の校長教頭、あとは担当者ですとかその依頼によって、それぞれ学校の担当者ですとか場合によっては、中学校ですと生徒の協議会の中に入ってですね、会議を一緒に進めていくというところですので、この委員ということでは、先ほどお話あったのですけど公職者っていうところで、教員が入ってない感じに見えるように見えるんですが実際の会議の中では、学校の職員が入って協議をして進めているところですので、はい。ちょっと説明が足りず申し訳ありません。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>その他どうでしょうか。</p> <p>はいどうぞ。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>今これ各校の取り組みで小中12校全部いろんな取り組み内容が別々ですけども、コミュニケーションのスクールのもう1個外側からこれを見ると、各地域、各行政区で何が起きているかっていうと、本当にお隣さんがもうどんどんバラバラになっているのですね今ね、具体的な自分が関係しているところだと、いきいきクラブだと、参加される方がどんどん減っていったって、もう年々みよしの中の結構後期高齢者の中で社会出ているような活動に参加する方が減っていく。</p> <p>それから各行政区では、組長さんの制度の昔だと組の総会があって自分とこの組は誰々さんが今度の組長さんでこういう分担して、総会があってっていうところですけど、もうそれもなくなっちゃってただ次の方に当番ということで、全然隣の方が知られもうないっていうのはどんどん今増えています。</p> <p>それからあとお宮関係でいくとも私神社関係も関係していますけど、昔から伝統的にお囃子や何かとかいろいろあるけどそれやる子供がどんどん、減ってきていもう1つはもう宮の役員を昔地域だったらもう当然年を取ったら役員やってコミュニティで何と</p>

か盛り上げるっていうのが当たり前だったのですがでもそれぞれもうわしは忙しいと感じて、全然そのうちはうちだけであとは一切関わりをしないので、近所で1人だけ亡くなったというのは私最近自分の近くだけでも、二人おります。孤立していますね。これもなんか1個その地域の活性化の中にこのコミュニティスクールがもうちょっと根本的な、ちょっと何か参加するというだけじゃなくて、もうちょっと何か広げた、もっと引っ張り込めるようなシステムを何か考えながら、地域そのものが活性化すると小中学校のコミュニティスクールも活性化するし反対にみよし市のコミュニティセンターがもっと活性化するっていう大きいビジョンを、利根全体で得みんなが意識持っていくようなところからやって、もう考慮に入れながら、コミュニティスクールをやっているかないと、実際に最近、老人会のいきいきクラブの会長が私ども回っていたけど、コーディネーターが変わってきて、老人会で今度小学校にこれやりますけど老人会から何人出していただけませんかねって当然、お願いしたらやるよって言うのですが、コーディネーターの方ももう本当に困ってみえて、どういうように学校と地域繋いでいったらやれるだろうか、差し当たって子供たちの生活環のために、老人会老人会自治体いきいきクラブの方から何人お願いしますような言い方ですけども、やっぱりその辺で全部止まっている。だから昔と全然変わってない。

ただ、教頭先生が地域にお願いしとったのがコーディネーターっていうか、方が、全く同じ役割をしているだけで、そのシステムそのものがあんまり変わったなあと、このシステムが文科省のコミュニティスクールって名前だけ全然変わっているけど中身全然昔、変わつたらんよねというのが僕の実感で、だから、もうちょっとその大きく非ところからなんかどこをついたらどういうふうに変っていくかなっていう研究も含めてやっていただけるといいかなと思って。

ただ、今度お前何がどうしたらいいって言われると、全然ビジョンはないですけど、何かそういう仕組み書も、もうこの現代に合わせた参画できるような仕組みをそもそも考えていかないと、話が別に飛びますけど、市立図書館でみんなが使えるために、こういう昔型のやつから、これも多分これ昔型の図書館なのですね、地域がいつでも入ってくるような、図書館って結構今全国のあちこちのアイデア出して作っていますよね。参画できるコミュニティスクールのガイドデザインをもうちょっと考えていかないと。文科省がコミュニティスクール作るぞ、コーディネーターを地区ごとに何かやってくたさいって、何かまた今回も文科省が出した旗で、次の新しいビジョンやって新しいことが来て、あんまりまだ経験ないので、そうならないこれは操作しちゃいけない、コミュニティスクールはシステムじゃないという文科省がいろいろキャッチデータ作るのですけどコミュニティスクールっていう学校教育だって地域も含んだこのシステムを、何だろう、考えていかなきゃいけないなっていうのは、そういう思いが最近していますので、コミュニティスクールもちょっとベースから地域を巻き込んだ、巻き込んだじゃないね、巻き込むためにどういうシステムを作ると、より活発化するか。

でないとどんどんなんか埋没して行って、もう最後は隣が全部個別化して、市役所と個人という形、行政区でも入らない方もいますよね。

昔だと、行政区入って当然順番が組長回ってきていろんな当番活動とか、区長さんがやるのですが、広報は自分で取りに行く、災害時も勝手にするっていう方ですけど、そういうわけにはその方はそうかもしれんけど実際はそうはいかない。

なんかその辺のところももう個別化されているので、このコミュニティスクールで幼稚園、保育園の保護者から小学校からその辺の年代からごちゃごちゃとやってやっぱりみんなで作るよねっていう意識を高めていく。

いいシステムだなと僕は勝手に思うのですね。

ですから、コミュニティスクールはもうちょっと、深く考えてやっていただけるといいのかなと個人的な意見すいません。

勝手なこと言いましたが、いかがでしょうか。

大村委員

ちょっと関連していいですか。
すいません。

コミュニティスクールはもう20年以上の仕事ですよ。
もともとは2000年の教育改革国民会議で議論が始まって、2004年の地球両方法律の中で、学校運営協議会っていうのは、規定されて、それを組むのはコミュニティスクール後ということで、法律改正からいっても20年は経っているのですよね。
だからそういった意味では文部科学省は頑張ってもいいとは思いますが。
ただ、それをどう作っていくのかっていうところが、これも、いい面でもあると思うのですが、やっぱりその地域が作ろうと思わないとだめだからって形で上から作るっ

というふうにしなかったですよ。だからもう都道府県で相当差がありますし、愛知県の中でも、市町によってかなり差がある。

それぞれの町がそういう学校づくりに何ていうかな、取り組んでいく、それを待つという、そういう、形でやっているので、なかなか時間もかかっているというふうに思いますんで、今向こうの委員さんおっしゃったように、社会的な孤立の問題は、やっぱりこのコミュニティスクールを考えていく上でやっぱり一番考えなくちゃいけない問題だというふうに思っていて、うん。

どうやって地域の人たちの繋がりをつくっていくか、或いはその保護者同士の繋がりをつくっていくか、それおそらく子供同士の繋がりをつくっていくことにもなるので、そういった人と人をつなげるその仕組みとしてどう機能するかというのが大事だと思うのです。

さっきおっしゃったまだ学校で授業をするから、人を出してくれと言うのは古いパターンですよ。

ただ団体頼みで団体に人を出せというやり方っていうのはもう限界がきていて、多分それで子供会とかPTAとか、運営が非常に苦しくなっているのですよね。

今その子供会にしるPTAにしる、一人一人もうみんな働いていますから。

それぞれの時間をやっぱなんだろうかな。自分はこの日が空いているとか、この時間が空いているっていうような、いろんな形の参加ができるような、そういった試験仕組みにしてかなくちゃいけないっていうことで、これからPTA改革なんかやってらっしゃるところも、一律に人を出せじゃなくて、誰に出る人がいますかっていうふうに投げかけて、手を挙げてみんな参加してくれるっていう形ですね。

それをやるためには、情報の共有が大事ですよ。

こういった事業をやりたいと。それはこういう思いがあるからということをもみんなが知っていて、そうか私はここできるとか。そういうふうに見えるっていう、そのため、情報共有をどうやってやってくかっていうのが一番大事かなっていうふうに思っていますよね。

その上で、出てくれた人、そこに集まった人を大事にして、みんな楽しくやれるようにしていく工夫でそれを1つ1つ積み重ねていくことが、何か新しいふうに参加することの楽しさとか、みんなで一緒にやることの楽しさを保護者が集まっていくとか、子供が味わっていくか。そういった経験を積み重ねることで作られていくものじゃないかなっていうふうに思うのですよね。

なので、行政としてはやっぱり情報の共有をどうしていくかと。コーディネーターの発生にするとこういうネタが大変ですよ。今まであと教頭先生が一番大変だったですよ。だからそうじゃなくて、どうやって情報共有するかで、先ほどの課題でも、出ましたかね地域に周知できてないっていう話があるけども、僕が聞いたところだと先生の間でも周知できてないのではないかと。

つまり教頭先生、校長先生は大体わかるけども、他の先生はみんな知らない。

だからなかなかこう、保護者にも語っていけないし、子供にも関わっていけない。

だから、まずは先生の間で共有して欲しいし、その内容を子供やその保護者、地域の人にも共有できるようにして欲しいっていう、そういった何か情報の流れを、考えていただけるとかと思えます。

1つぜひお願いしたいのは今日の確保の取り組みがありますけども、これは非常に何て言うかな。半分一部ですよ。

それぞれの学校で取り組んでいることがあって、そういうでも取り組んでいることが横に情報が流れない。だから学び合うってことはなかなかできてなくて、学校の先生たちは教育研究集会っていう形でね、その実践をレポートにしてそれをみんなで学び合うっていうそういう文化がありますけども、このコミュニティスクールを、の実践はなかなかそれに載ってないのですよ。

で、というのは、今まで教頭先生がずっと抱え、抱えてきたので、教頭先生がレポートをね、みんなの中で発表するっていうことは今まであまりなかったからだかなというふうに思っているのですが。他の場でも、教頭先生の間では共有している話は聞くのですけども、そこに止まっているのですよね。

なので、こういうそれぞれの学校の実践を、写真とか文字とか、或いは動画とかという形でみんながわかるような形にさせていただいて、他の学校の親たちも見られると学びながら、あそこでこんなことやっているのだからうちでもちょっとやってみようかと。

いう話ができるような、そういった実践の学び合いを市としてはね、それをそのプラットフォームというか、できるそういう場づくりをしていただけるといいかなと思います。何か面白そうなことやっていれば多分広がると、自分がやりたいっていう人は

<p>今瀬委員長</p>	<p>必ず出てくると思うので、そこは、信じていいかなというふうに思っております。ちょっと長くなりました。ありがとうございました。</p> <p>すごく大切な助言をいただきまして、なるほどと思っています。</p> <p>ホームページ開設はすぐできますよねとか言っただけは、ぜひ進めていただけると、さらに推進できるかなと思っていますが、これも1歩1歩かなと思っています。</p> <p>いろいろ研修でさしていただいても、やっぱり10年、かかるってことを言われました最初は紆余曲折からいろんな課題もあつたり、問題もあつたり、やってみただけどうまくいかなかったってこともたくさんあるみたいですので、元は子供のため地域のためってことは、中心は触れないと思うのですけれども、それぞれ工夫しながら、さらに有利になるかと思っていけばいいかなと思います。</p> <p>PTAの立場としてはどうですか。</p>
<p>横山委員</p>	<p>そうですね。今いろんな方のお話聞いて、自分の子どもの頃をちょっと思い出したのですけど、自分が中学生のときに、何かイベントをすることかかってそんな大層なことやなくて、地域のお父さんとかお母さん、僕は自分たちの親ですかね、普通に普段働いてらっしゃるその内容とか、その会社でやられているクラブ活動の中身を子供たちに紹介するだとか、そういった非常に地域近い自分の親に近いはない。そういったことをつなげることで、当時は僕の親父も、あそこの中から講師をやっていた当時は、実業団のボーリングをやっていたものですから、そのボーリングでストライク踊りとり方はどんなにかみたいなことを講義していましたけど、そういったことも今思うと、地域の方が自分の子、その地域に住んでいる子、そういったことのために一肌脱いでいたんだなということと思うと、古い事例ですけれども、非常に面白い取り組みだったんじゃないかなと思いました。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>では次の話題の方に行きたいと思います。</p> <p>策定中の教育振興基本計画について説明をお願いいたします。</p>
<p>副参事</p>	<p>はい。お願いします。</p> <p>配布しました教育振興基本計画、本件取り組みについて、説明させていただきます。</p> <p>みよし市教育委員会では、平成28年に現在の教育振興基本計画が策定され教育施策を、また現在ですね、10年目ということで来年度から始まる新教育振興基本計画の策定に向けて昨年度から検討を進めているところです。</p> <p>昨年度末には、新たな基本、計画の基本理念や目指す人間像、基本目標をまとめ現在は基本目標の達成に向けた各体系の整理や重点取り組みの検討を進めているところです。</p> <p>1枚目のところが昨年度までに、固まってきた基本理念と目指す人間像と基本目標というふうに出しております。</p> <p>では今日はですね構いませんがその一部について説明させていただきます。</p> <p>まず、めくっていただいて1ページをご覧ください。</p> <p>基本目標1としてありますがこちらについては、主に子供の育ちとして、主に小中学校の子供の育ちに関する内容を、このように整理をさせていただいております。</p> <p>続いて2ページです。</p> <p>こちら基本目標2とありますけれども、こちらは主に市民の育ちということで、市民の育ちに関する内容を整理しているところです。</p> <p>続いて3ページをご覧ください。</p> <p>基本目標の3ですがこちらは基本目標1、2の育ちを支える家庭や地域づくりに関する内容をまとめさせていただいております。</p> <p>特に2ページにあります、基本目標2の部分が今回お集まりいただきました、社会教育、皆さんの社会教育に関する内容となっております。</p> <p>生涯学習の推進、磯貝スポーツの推進、文化活動の活性化の3つを基本施策として、4つの重点取り組みを初めとした取り組みを設定しております。</p> <p>続いてですね、4ページの方をご覧ください。</p> <p>ちょっと抜き出していますが重点取り組み7ということで、そちらには総合型地域スポーツクラブの支援を今後も継続して参ります。</p> <p>市民がスポーツをしたり楽しんだりする機会を創出するために、総合型地域スポーツクラブの運営を支援し、地域スポーツ推進の基盤強化を目指して参ります。</p> <p>続いて、5ページをお願いします。</p> <p>重点取り組み8として、子供のスポーツの機会の充実を推進します。</p> <p>小学校の部活動廃止による子供の体力低下など、子供を取り巻くスポーツ環境の変化に</p>

	<p>対応するものです。 続いて6ページをご覧ください。 重点取り組み9として、文化財の保護と活用を推進します。 本市の歴史と文化を活用して、市民が、交流する機会をつくり出し、市民としての誇りや郷土愛を自覚していただければ市民の繋がりがづくりを進めて参ります。 続いて7ページをご覧ください。 重点取り組み10として、6章の啓発事業を推進します。 図書館の整備充実やイベントの開催、小中学校図書館との連携など様々な事業の推進を通して、市民の教養文化の向上を図って参ります。 続いて8ページをご覧ください。 こちら基本目標3に当たるところですが、先ほどご説明した地域学校協働活動に関する内容を紹介させていただきます。 基本施策3の重点取り組みとして、地域とともにある学校づくりと学校への支援を推進します。 学校教育と生涯学習を充実させるためには、家庭、地域、学校の連携が不可欠です。 地域学校協働活動の充実のため、支援を進めて参ります。 以上です。現時点までの教育振興基本計画のうち社会教育に関する内容を中心に説明をさせていただきました。 以上です。</p>
<p>大地委員</p>	<p>すいません。 お願いします。 振興計画の方に参加させていただいて、今回の一番大変目指す人間像のところ生涯にわたってみずからを磨きってというところが、この社会教育部門で一番意識していかなくてはいけないかなというふうに、感じています。 生涯にわたってということは、0歳から100歳、これこれから100歳までの学びを保障するというので、その時にそれを考えたときに、この今の重点目標スポーツとか、文化財とか図書館のことが出てきているのですけども、そこが生涯にわたっての学びを保障するところに本当に直結するのかなってちょっと私の中では疑問があって、障害、ということを考えるときに先ほど出てきた家庭教育だとか、それから諸学校教育を終わった後の大人、大学生20代30代40代、高齢者っていうのもありますけどその部分の学びをどう保障していくかということをちょっと注目していかなくてはいけないのではないかなということを感じています。 先ほど家庭教育の話は出てきたので家庭教育で、親が親への教育親が育つ教育っていうところも視点を当てなくてはいけませんし、あと市民がどう学んでいくかっていうことで、生涯学習講座はありますけど、あとどんな学びがあるかなっていう。 みよし市の中でもいろんな行事が行われているのでその行事に参加したりとか図書館も利用したりとかいうこともあると思うのですけども、あと、例えば美術的なこととか、いうお考えと豊田市の美術館、近くで美術館があるのでそこで学ぶとか、博物館もできたのでそこに学ぶとかいうことも、みよし市としても考えていくことも思っています。 図書館は何か豊田市の図書館と連携と、私はいろいろ聞いているのですけども図書館の貸し出しとか、美術館とか博物館はどんなふうになっているのかなってことも今ちょっと思って、この重点目標の部分に生涯にわたって学ぶという、足場での何か要るのではないかなということを感じているのですけども、いかがかなということ意見を述べさせていただきます。以上です。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>皆さんいかがでしょうか。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>本当に今日初めて目にするものですが、私もちょっと見させていただいて少し感じたことがあります。やっぱりスポーツとか図書館とかいろいろ入っているのに、一番大事な生涯学習の柱が入ってないってことで、これから大きく変えるっていうのは難しいかもしれないので例えば基本目標の施策体系の中の(2)のイの辺りを重点目標にしてそこに学びの保障とかいろんなことで連携して学びとかそれから講座の充実というところで重点的な取り組みがここに出てくると。さらに学びの保障、教育委員、行政としての学びの場の提供だとか、或いは支援とかいうところで少し手厚くなるのかなと思っています。なんか生涯学習、大切なのに、なぜ重点取り組みないのかなってその施策の中に入っているのですけど。やっぱり1丁目1番地は生涯学習かなと思うので、図書館すごくいっぱい支援があって図書館も学びの1つなんですけど、でも私も職を離れてみ</p>

<p>今瀬委員長</p>	<p>て時間がたくさんできた中でいろんなことをやってみたいっていう市内で、やってみた いなっていうときに何があるのかな。ただだんだん足腰を取れると遠くへ出ていけない からさらに地域での学びの場が必要になるだろう。 100歳までの学びを保障して欲しいなっていうのは個人的な感想ですけど、そんなと ころでちょっと生涯学習に関する基本的な重点取り組みが掲げられてもいいのかなとふ と思ったのですけれども、どうでしょうか。</p> <p>皆さん。意見とし、こうしろというわけじゃないです。 策定委員の皆さんがお見えですので、その中でということですので、あとそれからもう 1点、本当に先ほど近藤委員が心配しました資料館のあり方について全く一言も出てき てないっていう、出てこないと10年間何も動かないということに、なるのかなあとい うことでちょっとこここのところにも一言ぐらい。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>資料館の今後のあり方とか、会重要な文化財系統については今後あり方を検討するとい うような、ちょっと漠然とした値ができませんけどもかけないと前何年か立て直すとか 言うことはないと思いますけど、その一部を掲げておくだけでも、ここにはないとい うことは、消えてしまうかなと思って、私はぜひ一部載せてもいいのかな。絶対やるとま では書けないと思うのですが、あり方について、さらに登録を検討していきますとい うところは載せてもいいかなっていうことは個人的な意見ですがどうでしょうか。 それに関連ですけど、自分もこの基本計画に参加しとって、よく同じこと言ったので すよね。やっぱり近くのその資料館に来ると、やっぱり自分がみよしの市民だってい うアイデンティティーをやっぱり取るっていうのは、そういう博物館なり資料館だと思 うのですね。</p> <p>士別なんか言っても、ものすごく立派なものがあるし、それから士別の合併する前のあ そこにスキージャンプタイムの旭町の小さな、僕も写真でしか見てないけど、あそこが 全国のああいう、独創性を持った展示方法で全国何とかに選ばれた。 だから士別は市資料館行くのだけど、博物館以下だけど旭町の小さな、合併する前に旭 町はこんな朝日村あそこ多分朝日村地区はこんな歴史的なところだったよって、そこ うまく展示されて書いてあるのですけども。</p> <p>この近くだと安城が立派なもの作って、やっぱりあそこ見ていくと安城はこれだけの歴 史があって瀬太古の昔の人骨のところから、古墳のことから最後の班長用水までずっと 安城の歴史が一通り全部わかるように、やっぱりそれでやっぱりここに、戦国時代は本 田氏がそんな何人も死んでとか、そこはまた発展していたということが、あそこ行くだ けでやっぱり次体感的にわかるようなシステムになっている。</p> <p>みよし市が基本的には資料館行ってやろうと思っても、少ししか見るところがないみ たいなところから、みよし市民の横の繋がりとかが持とうと言っても一番元になる私は みよし市民でこういう歴史があるところ、市民の一員になるぞというベースになると ころがない。みよし市の歴史に関するパンフレットを作ればと、昔から言っているの ですけども、どこの地域でも、もうどれだけパンフレットをつくって、うちは戦国時代 にこれぐらいだったという資料があって、イラストつきで散歩コースが幾つもある けども、どこの地域に行っても、すごく全員が知っているぐらい、山城のこんなと こ広がったかにも大きなパンフレットで大々的にアピールすべきだと思う。皆 さん見てきて、これ議会じゃどこにあるのですかと聞きに来るけど、ほとんど 人がなかなか地域のの人に聞いてもらわんとわからんようなところで、整備も 発掘したままになっている。</p> <p>だから、ここでいっぱい言うけども、実際的なペーパーじゃなくて実際のもの、も のがないとか場所がないと、やっぱり進まないと思う。だから今、委員長さん 言われたように、やっぱり変えて行政的には予算を取ってこなきゃと思う。</p> <p>やっぱりみんなが共有しなきゃいけない。その辺の共有の場は非常にみよし市 弱いです。だから関連、今のさっきのコミュニティスクールでもひまわりネットに ついて各学校のコミュニティスクールでどんなことをやっているかをあの中 のシリーズ中に入れば、興味のある人は今ネットで今日はこの校区だ って言って、関係する人は多分また他所どこ行ってやっているからって またひまわりチャンネルその時間だけ見るとか。こういうコミュニ ティスクールをみんな地域でやっているみたい。そういう乗船がや っぱり社会教育、特に生涯教育の中のところが、な何かペーパーでは 強いけど実際が弱いところが前から非常に私個人的なそのペーパーの 部分と実際実践の部分とがすごい乖離があって、そこをもうちょっ とこうつなげるような、ペーパーのこれ見えないです。写真も何 もないから、文字列だけだから、そういう最低限体感できるよ うなものももうセットにした、こういう、基本計画の中に入っていない と。だからやっぱ、また作った人たちと学校の先生の上の人だけは行くか もしないけど実</p>

	<p>際実践の場ではあんまり変わらないような気がして仕方がなくて、やっぱりもうちょっとそういう見え見え見えるもので何か、日々は可能チェックして、前進できるようなシステムになるといいのかなって。ペーパーが終わるのではなくてね、できました皆さんどうぞ、こんなふうでやっていますよ。</p> <p>常時これが動くものでないといかんような気がして仕方がないです。すいません。まとまってなくて。実効性を伴うための計画にするために、重点施策等を決めて毎年チェックをするっていうのはそういうシステムがみよし市はでき上がってきていますが、なかなかやっぱり重点取り組みというところに出てくる重みといった人がなぜ全体の事業計画の90何%のところとは全然も違ってくると思います。</p> <p>ぜひこれはっていう教育委員会としてやっぱり、予算を取って何とかしたいということは思い切って入れてっていういいのかなっていうふうには私は思います。</p> <p>それから生涯学習についてもちょっと、一本柱があっといういいのかなっていうのは思いますがまたそれは策定委員の皆さんの決定に従っていただければいいと思いますが、そのような意見があったということはぜひお伝えしたいと思います。</p>
今瀬委員長	<p>すいません司会の取りまとめが悪くてちょっと長過ぎてしまいました。まだちょっとご意見いただいてない方、どうですかね。</p>
堀本委員	<p>一言かどうか、こないだ市長さんが来てくださっているのですね、その幼稚園に、保護者からどんな意見がありますか、市長さんに言いたいことは言ってみたことありますかみたいなこと言ったら、それお母さんがそういう区費も払いたくないからっていう人が多いって今そうっていうのがやっぱり言われていましたので、それはそのまま伝えてあるのですけれども。ただ市長さんも、それはなんか手が出せなさそうな感じだったです。でも、若い人でもそう感じている人もいるし、でも家に通っているお母さんたちを見ると、土日仕事して、もう本当に忙しそうに毎日送ってきて仕事して、さらにその方が何か祭りの保存会も今人がいないって、自分の主人がその送り込まれそうだなみたいな。いやいいじゃないですか、やってくささいよって話すけど、でもそういうことに興味を持って興味はあるけど、祭りをやれば遊びに来るけど、それを保存するために、頑張ろうっていうことをやる人はなかなかいない。</p> <p>最近みよしに住み始めた人も多いじゃないですか。家が増えて、住み始めた人いるんですけど、よくわかって見えてなくても、悪いこと活かせばもう面倒くさいからもう勘弁くださいっていう、生きているので精一杯ですっていう方が多い世帯が多いのは確かだと思うので、そこはどういうふうに変えていけるかとかねどのように参加していただけるか私たちはわからないですけど。幼稚園とかそういう子供園とか保育園とかができることがあれば、何かあるなら宣伝します。うちに来てもらって何かやることがあるのだったらやってもらって全然構いませんとは思いますが。</p>
今瀬委員長	<p>はい。そうです 中村先生いかがでしょうか。</p>
中村委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどからお話あった情報の共有が非常に重要だと。そして、お話もあった子育てって忙しいお父さんお母さん、あと忙しく働かされているお父さんお母さんがいらっしゃるかと思うのですがその人たちが今にこれからニュースを支えていかなければいけない。でも、日中は外に出て行く時間もない夜も子供たちのネットを見なければいけない。そうすると情報が入ってこないと置いてきぼりになっている印象になってくると思うので、ただその子供たちが言っている学校だとかのホームページは見るかもしれない。ただし見ようとしなければたどり着かないので、自分たちの子供たちが通っている学校とか、幼稚園だとかそういったところで、どんどん情報を載せて、芋蔓式に出て行くようにすると情報が入ってきて、いろんな情報がお祭りだったりイベントだったり、なんか話ありましたけれども、そういったところにこんなものがあるなら、ちょっと行ってみようかなと思うし、楽しそうにやっているな、この人たちはいろんな情報を持って相談やってみようかなと繋がっていくかと思うので、先ほどあった場所共有だとか、そういったことがやれると、もうちょっといいのかなと思います。ただ問題はデジタルだと思うので、あそこはレトロな回覧版とかになるのかなとは思っております。</p> <p>その事情もアンディさらなる今まで回覧版しか情報は見られないですがそういったものも継続は、紙の時代って古くなっていくと思うけどそういったものも継続の復帰をしております。</p>

今瀬委員長	大村先生最後にまとめお願いいたします。 まとめて欲しいです。 すいません。
大村委員	<p>教育振興基本計画は僕も関わっていますので、あるなと思います。 先ほどと社会教育分野で弱っているのは、お隣の豊田市は中学校区ごとに交流館という、いわゆる根幹があって、そこに職員さんが、6人とか7人います。 だから、いろんなことが相談できるし、そこで、以前、以前はその職員さんたちが高校づくりとかやったのですが、もうこの15年ぐらいいかな、職員さんが作るのではなくて、市民がやりたいということを言ってきたら、それを手伝うと背中を押すっていう形で、市民がこう活動できる、それを後押ししていく施設にしようというふうな取り組みで、今やられているのですけどね。 そういうコミュニティを作っていくという施設がこのみよし市はねちよっとはっきりしないですね。だからそこが弱いのではないかなというふうには思っています。最初にちょっと出したのはその地域学校協働がそういった場になれるかもしれないというそういったちょっと可能性もちょっと感じてはいますね。 ただ、そのコーディネーターの方に丸投げではもうつぶれちゃいますから、今はもう多分、複数配置はされていますよね。 ですから、そういうコーディネーターの必ずその1つの学校に何も行って、それを一緒にワイワイやりながらこうなんか作っていくってそこにちゃんと支援していくお金も時間もちゃんと保障すると。だから、ここは予算の問題でもありますけども、時給をちゃんと出して活動を保障するっていうことが大事だと思うのです。 そういった方たちを中心にコミュニティづくりを何から任せていくっていうか、進めていくのをなるべく邪魔せずに、やりたいことをやっていくというような体制をまず作っていくのはどうだろうかというふうにはちょっと思っていますね。 人生100年時代というのはやっぱり高齢者の問題ではなくって、中年世代、シニアシニアの手前ぐらいいやっぱ大事かなと思っていて、40代50代60代ぐらいい人たちが、この子育てが終わった後自分はどうできるかって言う、そういう自分の人生設計をする時期なのでですね。 ここにこういった支援が必要だなというふうに思う。 一緒に考えるというもちろんそこでは各家庭づくりがうまくいかないっていう場合に、どう家族を作っていくかっていうこともあるし、働くっていうことを通して社会と繋がるためには、キャリア学習が必要であるし、或いは支援が何らかの福祉的な支援が必要だっていう人たちのためには、地域福祉をどう作っていけばいいかっていうことも必要だし、そういったことがちゃんと学べるような場を、学校確認できるかどうか。 いうところなのですけどね。 でも、どっかでモデル的にやってみるか、或いは3タイプでやってみるか、幾つかちょっと試行的にやってみる場所があってもいいのではないかなというふうに思います。 ちなみに施策体系の2-1の生涯学習を推進するっていうところに、(2) 学びたい人だと交流する機会の充実とありますけども、ここにその施設や自主的サークルによる生涯学習の推進っていうのがあって、北欧ですね、北ヨーロッパの国々だと学習サークル制度っていうのを作っていて、市民が何人か集まってこういうことを勉強したいとこういう講師を見たいからっていう形で、市に要求してお金をもらって学習の場を作っていくっていう、そういう制度が多分あるのですよね。 それから、そういうちょっとした仲間としてもいいし、その地域学校協働の場でもいいし、或いは現行の公民館でもいいのですけども、そこで何かやりたいと思った人が市に申告をして、その学習の支援を受けられるっていうような、そういった仕組みが、1-2の(2)のところでやれたら、それはちょっと面白いと思う。 それでそのためには、それを支援する人が必要だっていうふうに思いますが、多分、今いろんなニーズにこたえて講座づくりをサンライブさんがやるっていうのはちょっと難しいから、抜本的に難しいかなって思いもあって、そこら辺の企画とか、やりたいっていう思いは市民にかなりお任せをして、そこに場所を提供、それから経費の保障でそれを講師が責任を持つっていうような、そういう形であれば、地域で自主的サークルによる生涯学習推進ができるかもしれないっていうのはちょっとですね、また予算次第ではありますけれどもご検討いただけたらと。すいません。 ありがとうございました。</p>
今瀬委員長	ちょっと時間オーバーしてしまいますが本当に大変貴重な意見をたくさんいただきました

事務局	<p>としますので、ぜひ、事務局の皆さん、今後の活動行政に活かしていただけたらと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>今日はどうもありがとうございました。</p> <p>今瀬委員長ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様も長時間にわたる審議ありがとうございました。</p> <p>以上で第1回社会教育委員会を終了いたします。</p> <p>最後に礼の交換をいたします。</p> <p>ご起立ください。</p> <p>一同礼</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>
-----	---